

ファイナル演習問題

PartⅧは、東大、京大、阪大、九大、名大等、最難関と言われる大学の入試問題がピックアップされています。ここまで学んだ知識・テクニックを総動員して、これら10題の問題に取り組んでみてください。

1. Seriously concerned about this trend, the prosecution appealed to the Supreme Court five robbery-murder cases in which death sentences had been reduced to life imprisonment by the high court.

(横浜国大 2007)

《語句》 (be) concerned about A: Aについて懸念(心配)する
trend: 傾向
prosecution: 検察
appeal A(事件) to B(裁判所): AをBに控訴(上告)する
the Supreme Court: 最高裁判所
robbery-murder case: 強盗殺人事件
death sentence: 死刑(宣告)
life imprisonment: 終身刑
reduce A to B: AをBに減らす
the high court: 高等裁判所

【解答&解説】

全体構造は

p.p.~, (S)+(V)...

Ⓢp.p. とは「過去分詞」のこと。

となっており、これは分詞構文ですね。

ⓈLESSON BOOK REVIEW Rule-37 を参照せよ。

Seriously concerned about this trend, the prosecution appealed...

p.p.

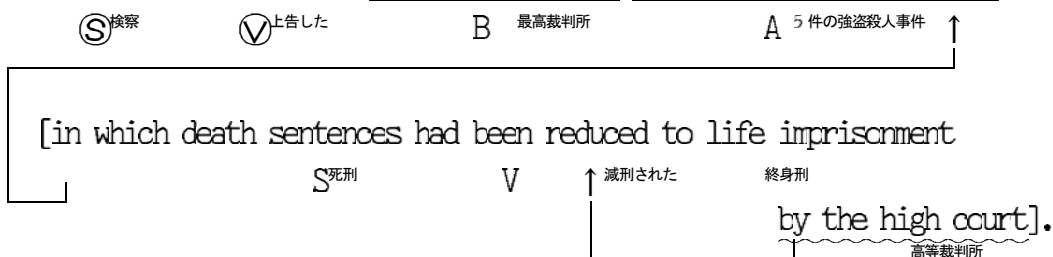
㊟

㊿

本問は前後関係から、文頭の方詞句は「理由(～して、～なので)」で訳せばいいでしょう。つまり「このような傾向を深刻に懸念して(したので)」くらいの訳でいいでしょう。

問題は the prosecution からの主節部分です。全体の構造分析図は以下のようになります。

the prosecution appealed to the Supreme Court five robbery-murder cases



難しかったのは、本来 appeal A to B となるべき形が appeal to B A と語順が変化(移動)してしまっていた点です。これを読み解くには **LESSON BOOK REVIEW Rule-47** が頭に入っている必要がありました。ここに

この手の語順変化(文の要素の移動)の見極め法として、「V+(前)+A(名)」という構造の後に、S・O・Cといった特定の役割を持たない「名詞」を発見したら、「S+V+M+O」型の語順変化ではないかと疑ってかかってみるのもいい。

と書いてありましたね。本問も

appealed to the Supreme Court five robbery-murder cases
V (前) (名) (名)

と、to という前置詞の直後に2つの名詞が並ぶ構造になっていたのです。ここから先程の語順変化を見抜かなければならなかったのです。

これさえつかめたら、(語句さえわかれば)あとは簡単でしたね。

【全訳】

「このような傾向を深刻に懸念して、検察は高等裁判所によって死刑が終身刑に減刑された5件の強盗殺人事件を最高裁判所に上告したのだった」

V(動詞)となっている appear は「現れる」ではなく、ここでは「～のように見える」という意味ですね。appear は後ろに(補語として)不定詞や形容詞・分詞を取る場合、「～のように見える」という意味になるのです。

the way ~ moves までは affect の目的語になっています。the way S+V~ は S・O・Cや前置詞の目的語になる場合、「～の仕方(方法)」「どのように～「様(子)」等と訳すのです。

📖 LESSON BOOK REVIEW 43ページ(注4)を参照せよ。

そうすると④はこんなふうになります。

「周囲の物や出来事は、子供がどのように動くかということ(子供の動き方)に影響を与えていないかのように見える」

⑤

まず文頭から object までを考えてみましょう。1つ目のポイントは not necessarily。この部分否定を読み取ることができたかです。「スマートリーディングADVANCED BOOK」の229ページには、部分否定についてこう説明されています。

部分否定とは「～というわけではない」と訳すもののことですが、どういう場合にこれが起きるかということがわかっていれば、部分否定の表現をすべて暗記する必要はありません。では、それはどういう場合かという、**「例外がない(例外を認めない)ような形容詞・副詞(「すべて」「常に」「いつも」「必ず」等)に not がついたとき」**に起きる(つまりその場合に「～というわけではない」という意味がつけ加わる)のです。

necessarily(必ず) はまさに例外を認めない副詞です。not necessarily は「必ずしも～というわけではない」と訳さなければいけません。そうするとここまでは「子供は必ずしも母親から離れるというわけではない」となります。

2つめのポイントは because。この because は「というのは～だからだ」等と訳してはいけません。否定文の後の because は「～だからといって」という意味になることがあるのです。

(ex) You must not be ashamed because you are poor.

貧乏だからといって恥じてはならない

You must not despise a man simply[just, only] because he is poor-looking.

単に外見が見すばらしいからといって、人を軽べつしてはいけない

ただし、否定文と共に用いられる because の全てが、そのような意味になるわけでは
ありませんから注意してください。

(ex) I don't like him, because he is not clever.

私は彼が好きではありません。なぜならば彼は頭が良くないからです

上の英文の because は、否定文と共に使われていますが、通常の「なぜならば～」
「というのは～だからだ」という意味ですね。この意味(「～だからといって」)にな
る because の特徴は、以下の2点です。

(1) because の前にカンマ(,)が置かれない

(2) 「(ただ)単に」という意味の just, simply, merely 等の副詞が because の
直前に付くことが多い(必ずではない)。

本問は、否定文の後にあり、かつ because の直前にカンマがないところから、この
「～だからといって」という意味を(because に)読み取るわけです。ではここまでの
訳をまとめてみましょう。

「子供がある物に注意を引かれているからといって、必ずしも母親から離れる(とい
う)わけではない」

次に nor から最後までですが、この nor は「～もまたない」という意味の接続詞で
and + not で書き換えられます。

⇒ and he does not return to her in flight from an object

こうやって書き換えてしまえば、あとは(語句さえわかれば)訳は簡単ですね。こんな
ふうになります。

「そしてある物から母親の所に逃げて戻ってくるわけでもない」

【全訳】

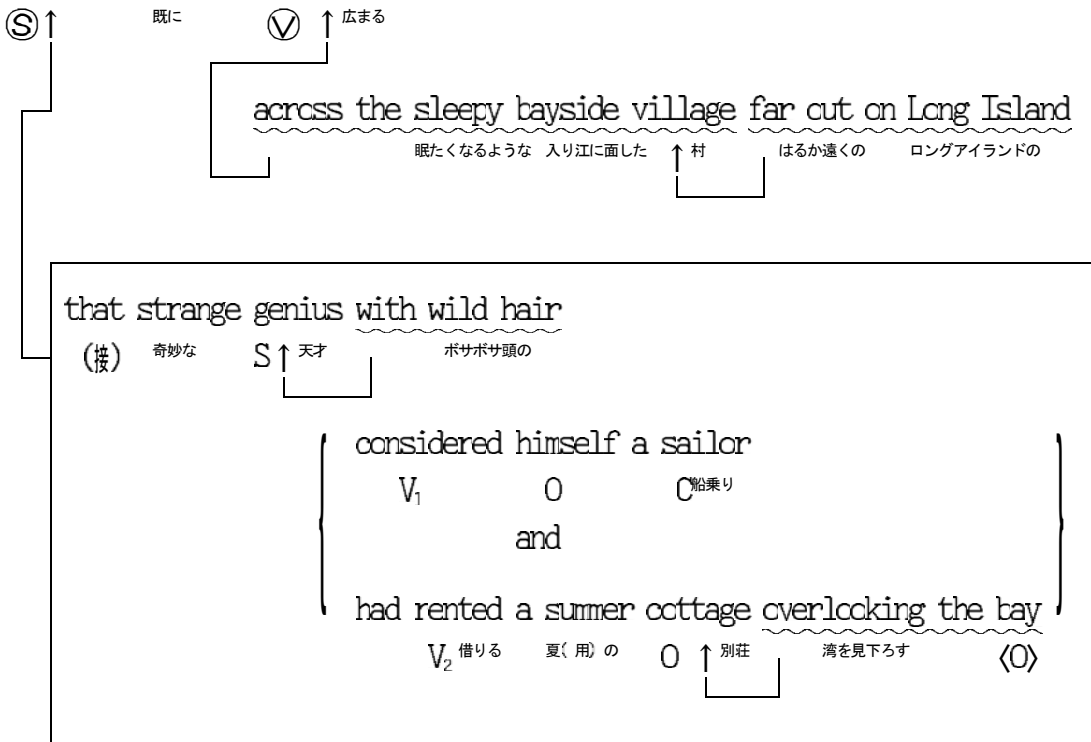
「子供がわずか数秒という発作的な動作で動くというのは(子供にとって・関して)特
徴的なことである。子供は、同じような短い間の発作的動きの合間には立ち止まる。
子供の歩く時間のほとんどは、母親へ近づいたり、離れたりするのに費やされる。
周囲の物や出来事は、子供がどのように動くかということ(子供の動き方)に影響を
与えていないかのように見える。子供がある物に注意を引かれているからといって、
必ずしも母親から離れる(という)わけではない。そしてある物から母親の所に逃げ
て戻ってくるわけでもない」

たとき、オーナーのディビッド・ロスマンはすぐに彼が誰だかわかった」

②

構造分析図をまず示してみましょう。

News had already spread



最大の難所は、英文後半の **that節**が、主語の **News** にかかる同格節だったことに気付いたかどうかです。

見極め手順は、まず **that節内**が完全な文であることから、**that** が接続詞だとわかります。

☞ **LESSON BOOK REVIEW Rule-9** を参照せよ。

次に接続詞の **that** が導く、いわゆる **that節**の可能性について考えて見るのです。

この英文で **that節**がS・O・C、あるいは副詞節になっているとも思えません。

☞ **LESSON BOOK REVIEW 41ページ**を参照せよ。

そこで同格の **that** の可能性が頭に浮かんだかが成否の分かれ目となります。

同格の **that** を後ろにとれる名詞は以下の2種類と決まっています。

- (1) 「思考・感情」「認識」「発言」を表す名詞。 ☞要するに「思う」「知る・わかる」「言う」型の動詞から派生した名詞。

(2)「事実(真実・証拠・可能性等)」「情報(報告・うわさ等)」「命令(要求・提案等)」を表す名詞。

そして時に先行するこれらの名詞と(同格の)that節は、離れ離れになる場合もあるので、その場合は注意が必要であると「スマートリーディングADVANCED BOOK」の69ページに書いてありました。そこで文頭の News が「情報」を表す名詞であることから、その可能性はないかとこれにかけてみるのです。するとうまく訳がはまるわけです。

②全体はこんなふうになります。

「ロングアイランドのはるか遠くの、この眠くなるような入り江に面した村中に、ボサボサ頭の奇妙な天才が自分を船乗りと考えて、湾を見下ろす夏の別荘を借りたというニュースが既に広まっていたのだった」

【全訳】

「アルバート・アインシュタインが¹⁹³⁹年の7月に初めてロスマン百貨店にやってきたとき、オーナーのディビッド・ロスマンはすぐに彼が誰だかわかった。ロングアイランドのはるか遠くの、この眠くなるような入り江に面した村中に、ボサボサ頭の奇妙な天才が自分を船乗りと考えて、湾を見下ろす夏の別荘を借りたというニュースが既に広まっていたのだった」

4. ①Feminists assert that women are still discriminated against in society and seek the end of that discrimination. ②They attack traditional male attitudes to women which suggest that women need protection. ③They are critical of the general tendency in society for women to be seen as dependent on or secondary to men.

(学習院大)

《語句》 feminist:男女同権論者

discriminate against A: Aを差別する

seek: ~を求める ☞活用は seek - sought - sought。

traditional: 伝統的な、従来の

male: 男性の ⇔ female

attitude: 態度、(ものの)考え方

protection: 保護

be critical of A: Aに批判的な

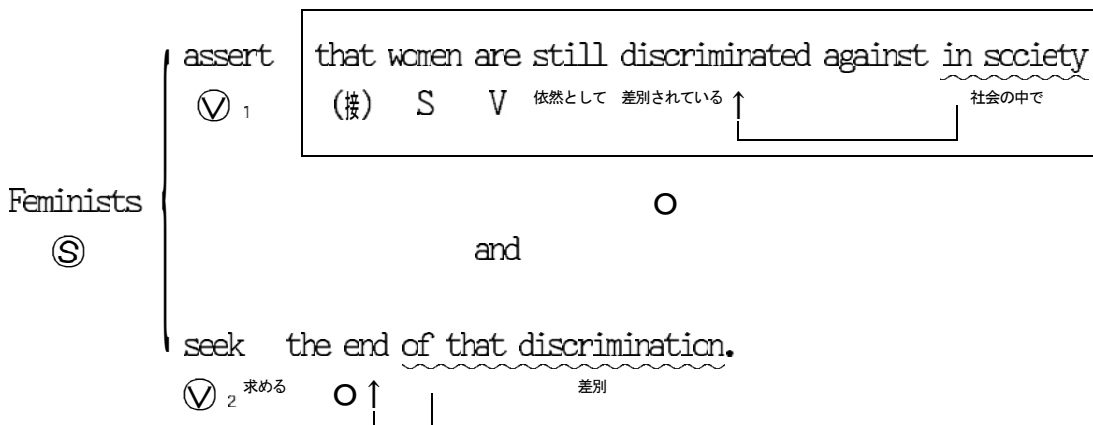
(be) dependent on A: Aに依存している

(be) secondary to A: Aに従属している

【解答&解説】

①

まず以下に構造分析図を示してみましょう。



assert の意味の類推については **LESSON BOOK REVIEW Rule-21**の2.(1) が役立ちます。

「SVO」構文で、「O」がthat節だった場合、「V」の意味は「言う」「思(みなす・考える)」「知る(分かる)」のいずれかである。

本問は「言う」と訳せば問題ありません。

◎実際 assert は「主張する」という意味で、これは「声高に"言う"」ことだ。

the end of that discrimination の of は目的格とみなし

the end that discrimination そのような差別を終わらせる
(他) ○

と、「他動詞+目的語」の形に(頭の中で)変換して読んでみるいいでしょう。

では訳をまとめてみましょう。

「男女同権論者は、女性は依然として社会の中で差別されていると言い(主張し)、そのような差別を終わらせる(差別の撤廃)を求めている」

②

ここは、関係代名詞の which の先行詞の特定がポイント。先行詞は women ではなく traditional male attitude です。ここではその決め手は文脈判断となります。このように、**関係詞節の先行詞は必ずしも直前の名詞とは限らない**ことが英文中では時に見られます。先行詞の決定は、本問のように文脈判断となることもあります。数が決め手となることもあります。以下の例文を見てください。

(ex) Jack is the only one of my friends that is talented.

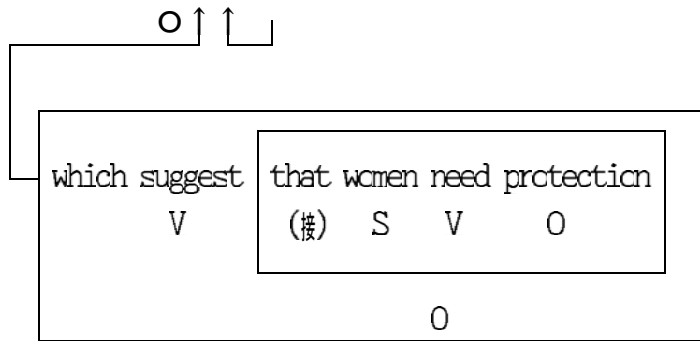
ジャックは私の友人のうちで才能のあるただ一人の人です

この英文中の関係詞節(that is talented)の先行詞は the only one です。my friends でないとわかる根拠は that の後の is です。もし my friends が先行詞なら、be動詞は(現在時制なら) are となるはずだからです。

以下に②の構造分析図を示してみましょう。

They attack traditional male attitudes to women

㊦ ㊧



それから suggest ですが、ここは「提案する」では意味が通じません。「示唆する」という意味になります。ただそれがわからなくても **LESSON BOOK REVIEW Rule-24** にこうありますね。

「㊦ + ㊧ + (that) S + V ~」となる場合、先頭の㊦が「物(事)」を表している場合には、㊧は「示す」と訳した方がいいことが多い。

このルールから suggest は(その主語にあたる先行詞が attitude と「物(事)」なので)「示す」と訳せば、合格ラインの和訳が出来上がります。

「彼らは女性保護を必要とするということを示す(示唆する)ような、女性に対する従来の男たちの考え方を攻撃する」

③

ここは tendency が to不定詞を後ろにとって「～するという傾向」という意味になることがわかっていないと難しかったですよ。

☞「スマートリーディング LESSON BOOK」205ページを参照せよ。

ただここでは to不定詞に for women という意味上の主語が付いているので、

tendency for A to do[願] ~: Aが～するという傾向

と(A と to do[願] ~が「主語と述語の関係」であることを活かして)まとめなければなりません。

☞**LESSON BOOK REVIEW Rule-35** を参照せよ。

in society は挿入された前置詞句なので(tendency を修飾していますが)いったん()でくくってみてもよかったですよ。

それから be seen as 部分ですが、この see は see A as B の受け身ですね。「動詞+A as B」型の多くは「AをBと見なす」となります。

📖 LESSON BOOK REVIEW Rule-26 8. を参照せよ。

本問はその受け身なので「～と見なされる」とまとめればいいでしょう。
ただ as 以降が以下のような構造になっていたのがわかったでしょうか。

$$\sim \text{ to be seen as } \left\{ \begin{array}{c} \text{dependent on} \\ \text{or} \\ \text{secondary to} \end{array} \right\} \text{ men.}$$

dependent on と secondary to が or によって並列され、共通して men をその目的語に取っていました。

そうすると③はこんなふうになります。

「彼らは、女性が男性に依存しているあるいは従属していると見なされている一般的な社会の傾向(風潮)を批判する」

【全訳】

「男女同権論者は、女性は依然として社会の中で差別されていると言い(主張し)、そのような差別を終わらせる(差別の撤廃)を求めている。彼らは女性は保護を必要とするということを示す(示唆する)ような、女性に対する従来の男たちの考え方を攻撃する。彼らは、女性が男性に依存しているあるいは従属していると見なされている一般的な社会の傾向(風潮)を批判する」

「ドイツのデュッセルドルフのネアンダーバレーにある石灰岩の石切り場で作業をしていた(働いていた)労働者たちが、いくつかの見慣れない外見(異様な形)の骨を発掘した」

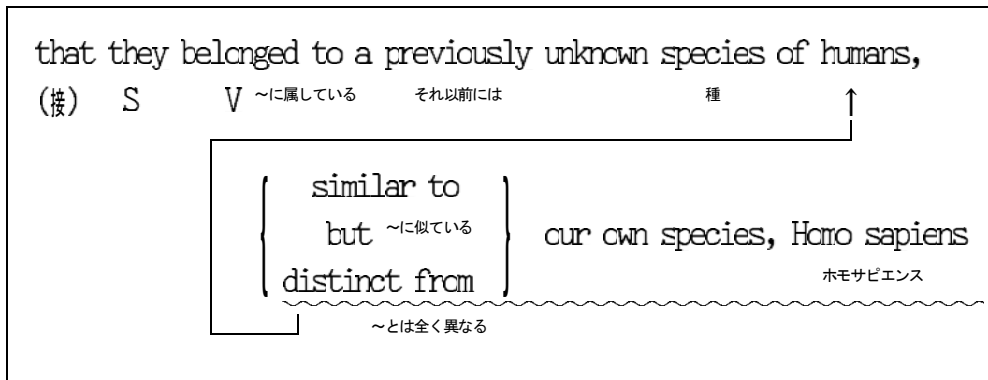
②

大枠としての骨組みは問題ないでしょう。Subsequent study がS(主語)、revealed がV(動詞)、直後の that節が全体としてO(目的語)で、第三文型(SVO)ですね。

Subsequent study revealed

Ⓢ

Ⓥ



○

ポイントとしては、similar to と distinct from が共通して our own species を目的語として取っていたことに気付いたかどうかでした。

☞これに気付くには LESSON BOOK REVIEW Rule-11, Rule-12 を参照せよ。

それから our own species と Homo sapiens は同格になっています。

reveal の意味(の読み取り)については、PartIV 31.の解説を参照してみてください。

そうすると②はこんなふうになります。

「その後の調査は、それらが現生人類であるホモサピエンスとは似てはいるが全く異なる、それ以前には知られていなかった人類の種に属するものであることを示した」

別解として以下のような訳し方をしてもかまいません。

「その後の調査は、それらがそれ以前には知られていなかった種の人類に属するものであり、現生人類即ちホモサピエンスとは似て非なるものであることを示した」

また同じく PartIV 31. で紹介した無生物主語構文の上手い訳し方を利用して、以下のようにまとめてもO.K.です。

「その後の調査によって、それらがそれ以前には知られていなかった種の人類に属するものであり、現生人類即ちホモサピエンスとは似て非なるものであることがわかった」

【全訳】

「ドイツのデュッセルドルフのネアンダーバレーにある石灰岩の石切り場で作業をしていた(働いていた)労働者たちが、いくつかの見慣れない外見(異様な形)の骨を発掘した。その後の調査は、それらが現生人類であるホモサピエンスとは似てはいるが全く異なる、それ以前には知られていなかった人類の種に属するものであることを示した」

6. ①It was only in 1900, 16 years after Mendel's death, that other researchers rediscovered Mendel's laws and realized that he had anticipated them. ②The history of biology could have been quite different had Darwin read Mendel's article, recognized that it provided a better theory of inheritance than his own, and incorporated it in future editions of his book.

(九州大 2011)

《語句》 Mendel's law:メンデルの法則

anticipate:①~を期待[予想]する ②~に先行する、~の先を越す

article:①記事、論文 ②品物

recognize:~を認識する

theory of inheritance:遺伝の理論

incorporate:~を取り入れる、組み入れる

future edition:後の改訂版

【解答&解説】

①

PartIV 37. の解説で

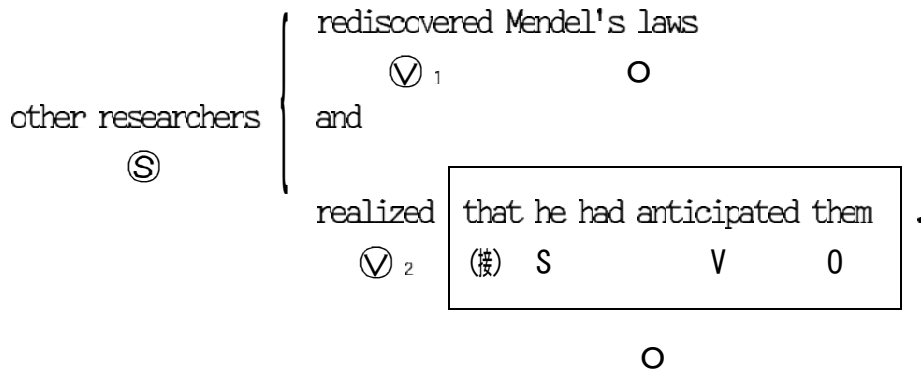
It is[was] と **that** の間に「副詞(の仲間)」があったらそれは強調構文だとみて間違いありません。

會副詞(の仲間)とは、「副詞一語」「前置詞+名詞」「接続詞+S+V」。

と説明しました。①の英文は It was と that の間に only in 1900 という「前置詞+名詞」がありますから、瞬時に強調構文とわかります。16 years after Mendel's death という挿入句は in 1900 と同格です。

強調構文とわかれば It is[was] と that は()でくくってしまえばいいんですね。そうすると以下のような構造分析ができます。

only in 1900, 16 years after Mendel's death, //



具体的な訳出の仕方ですが、文末の them は other researchers を指しています。
それから同じく PartIV 37.の解説に

強調されている語句が「only+語(句・節)」等の場合は、「～してはじめて(ようやく)…した」と、前から普通に訳せばいい。

とありました。このアドバイスに従って訳すと①はこんなふうになります。

「メンデルの死から16年後の1900年になって初めて、他の研究者達はメンデルの法則を再発見し、メンデルが彼らの先を越していたことに気付いたのだった」

realized は that節を目的語に取っています。「知る・わかる」型の動詞ですね。

☞LESSON BOOK REVIEW Rule-21の2.(1)を参照せよ。

②

ここは PartVI 53. の解説がヒントになります。

(1)主節に「助動詞の過去形」あるいは「助動詞の過去形+have+p.p.～」がある。

(2)?(クエスチョン・マーク)が文末にないのに、疑問文の語順になっている節が文中にある。

という2点が決め手となって、if の省略された仮定法であることに気付かなければなりません。つまり had Darwin read Mendel's article～ は元々

⇒ if Darwin had read Mendel's article～

だったのです。

では全体の構造分析図を示してみましよう。

7. ①Capitalism is the most successful wealth-creating economic system that the world has ever known; no other system, as the distinguished economist Joseph Schumpeter pointed out, has benefited "the common people" as much. ②He observed that capitalism creates wealth through advancing continuously to ever higher levels of productivity and technology; this process requires that the "old" be destroyed before the "new" can take over.

(中央大法 2011)

《語句》 capitalism:資本主義
distinguished:著名な
point out:~を指摘する
benefit:~に恩恵をもたらす
advance:進む
productivity:生産性
take over:取って代わる

【解答&解説】

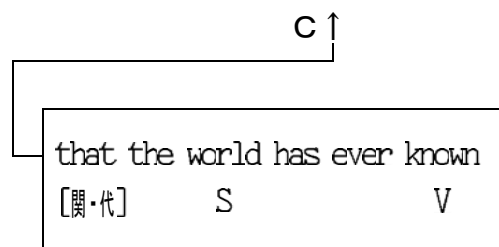
①

まず文頭から known までは、語句さえわかればさして問題なかったでしょう。that は関係代名詞で、that ~ known は直前の名詞(economic system)を修飾しています。

Capitalism is the most successful wealth-creating economic system

㊸

㊹

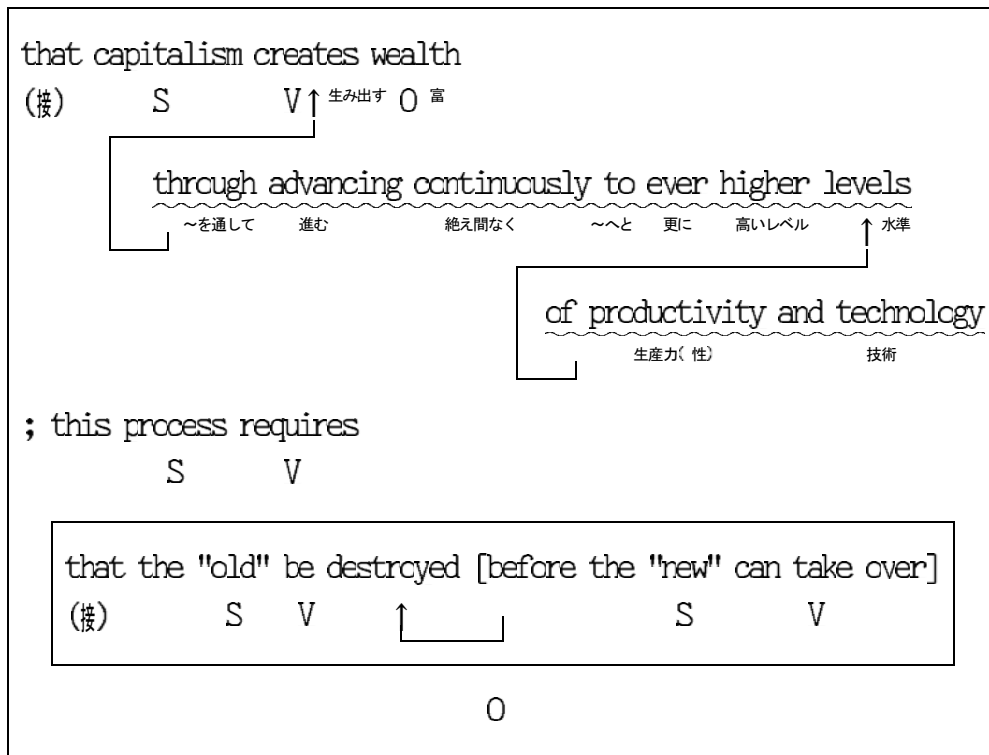


そうするとこの部分はこんなふうになります。

「資本主義は、世界がこれまでに知った(中で)最もよく(うまく)富を生み出す経済システム(体制)である」

He observed

㊦ ㊧



○

observed は that節を目的語に取っています。LESSON BOOK REVIEW Rule-21の2.(1)を使って、ここは「言った」と訳せばいいでしょう。

㊦ 実際 observe は that節を目的語に取る場合、「言う、述べる」という意味になる。

ever higher の ever ですが、比較級の前に置かれた ever は(先程の「これまで(で)」とは異なり)「更に、いっそう」と訳します。セミコロン(;)は and の代用と見て「そして」と訳せばいいでしょう。

㊦ 英文中のセミコロンは接続詞の代用か、「つまり」「即ち」と訳す同格を示す記号となるかのいずれか。LESSON BOOK REVIEW Rule-63 を参照せよ。

それから the old と the new については、Part I 6. の解説が参考になりますね。ここは「古いもの」「新しもの」と訳せばいいでしょう。そうすると㊦はこのようになるでしょう。

「資本主義は更に高い水準の生産力と技術へと向かって絶え間なく前進することを通

して富を生み出し、この過程においては、新しいものが取って代わりうる前に古いものが取り除かれる(淘汰される)ことが求められると彼は言った」

會《課外授業13》の最後で「能動態でも受け身的に訳した方が良いことも(少例だが)ある」と言ったが、それが今回の requires 以下だったと言えるだろう。

【全訳】

「資本主義は、世界がこれまでに知った(中で)最もよく(うまく)富を生み出す経済システム(体制)である。著名な経済学者であるジョセフ・シュンペーターが指摘しているように(指摘していることだが)、これほど一般の人々に恩恵をもたらしたシステム(体制)は他になかった。資本主義は更に高い水準の生産力と技術へと向かって絶え間なく前進することを通して富を生み出し、この過程においては、新しいものが取って代わりうる前に古いものが取り除かれる(淘汰される)ことが求められると彼は言った」

8. ①Some people still persist in a view of the natural world and its inhabitants as having no other value than to serve humans as tools, objects, and resources. ②This approach is very different from that of indigenous people who recognize no such hierarchy and do not see a separating wall between humans and the animal and plant kingdoms.

(大阪大2010)

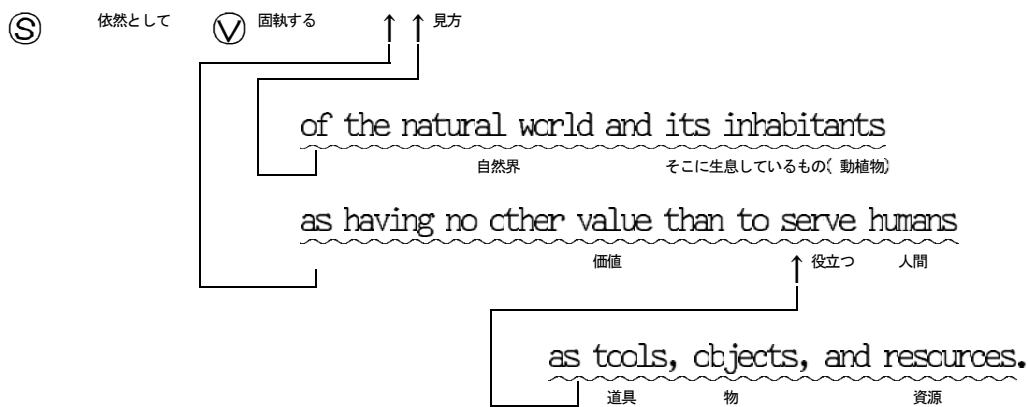
《語句》 persist in A: Aに固執する
 inhabitant: ①住民 ②(ある地域に生息する)動物・植物
 serve: ~の為に尽くす、役立つ
 resource: 資源
 indigenous: 先(源)住民の
 recognize: ~を認識する、認める
 hierarchy: 階層、上下関係、序列
 kingdom: ①王国 ②~(世界)

【解答&解説】

①

まずは構造分析図を示してみましょう。

Some people still persist in a view



view of A as B となっている部分については、この of を目的格ととらえ、

view the natural world and its inhabitants as having no other value...

(他)

○(A)

(B)

と読み換えてしまうといいでしょう。そうすると「動詞+A as B」型は「AをBと見なす」が基本ですから(LESSON BOOK REVIEW Rule-26の8.を参照せよ)、「自然界とそこに生息する動植物は、than以外より他の何の価値も持たないと見なす(こと)」とまとめてしまえばいいのです。それから having no other value than to serve humans 部分について、こんな和訳のルールがあります。

英語の否定語は、なるべく述語(動詞等)部分を否定するように和訳するとい
いことが多い

いくつか具体例をあげてみましょう。

(ex) Little was done to help the children by them.

この英文を「ほとんどないことがなされた」と訳しては意味不明です。was done を否定するようにして「子供たちを助けるのに彼らはほとんど手を貸さなかった」とまとめるといい和訳になりますね。もう一例見てみましょう。

(ex) Little is known about what happened to them.

この英文も、is known を否定するようにして「彼らに何が起きたかは、ほとんど知られていない」とまとめるといい和訳になります。

そこで本問の having no other value than to serve humans も、having を否定するようにして、「人間の為に尽くす(人間に役立つ)より他の何の価値も持たない」と先程訳したわけです。

as tools, objects, and resources の as は前置詞で「～として」と訳し、この部分は serve を修飾する副詞句と見るといいでしょう。

そうすると①はこんなふうになります。

「自然界とそこに生息する動植物は、道具、物、資源として人間の為に役立つ以外、何の価値も持たないとする見方(見なすこと)に、依然として固執する人達もいる」

②

まずはここも構造分析図を示してみましょう。

民のそれとは非常に異なっている」

【全訳】

「自然界とそこに生息する動植物は、道具、物、資源として人間の為に役立つ以外、何の価値も持たないとする見方(見なすこと)に、依然として固執する人達もいる。このような(自然界とそこに生息する動植物は、道具、物、資源として人間の為に役立つ以外、何の価値も持たないとする)見方は、そのような上下関係を認めず、人間と動植物の世界を分け隔てる壁を見ようとしな(壁があるとは見なさない)先住民のそれとは非常に異なっている」

9. ①There are historians and others who would like to make a neat division between "historical facts" and "values." ②The trouble is that values even enter into what count as facts — there is a big leap involved in moving from "raw data" to judgment of fact. ③More important, one finds that the more complex and multi-levelled the history is, and the more important the issues it raises for today, the less it is possible to sustain a fact-value division.

(京都大 2000)

《語句》 make a neat division: きちんと区別する(分ける)

The trouble is that S+V~: 困ったことに(は)~だ

◎本問については「困るのは~だ」くらいの訳でまとめた方がいい。

values: 価値観

enter into A: Aに入り込む

◎enter A(具体的な場所)で「Aに入る」。enter into AのAには「仕事・作業」といった抽象的な物事が入る。

count as A: Aと見なされる

leap: 飛躍

A is involved in B: BにはAが含まれている

raw data: 生の資料

(文頭の)More important: 更に重要なことに(は) = More importantly

complex: 複雑な

multi-levelled: 多重構造の

issue: 問題

raise: ①~を上げる ②(問題等を)提起する

sustain: ~を維持する、保つ

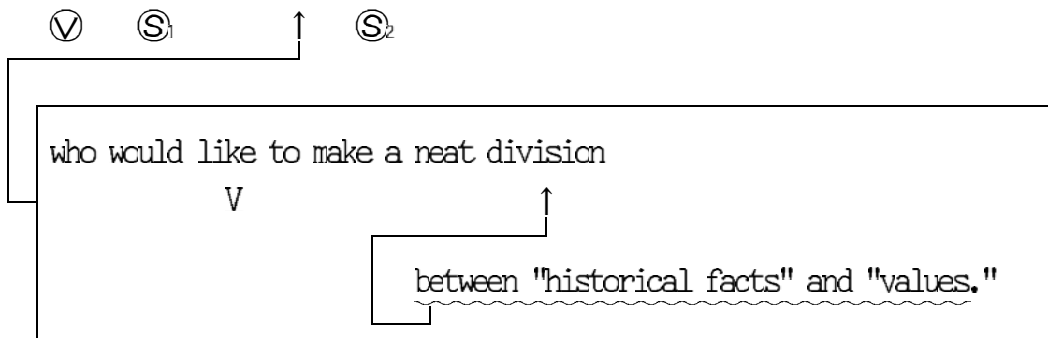
a fact-value division: 事実と価値観との区別

【解答&解説】

①

ここは単語さえわかれば、さして問題なかったでしょう。一応構造分析図を示しておきます。

There are historians and others



そうすると①はこんなふうになります。

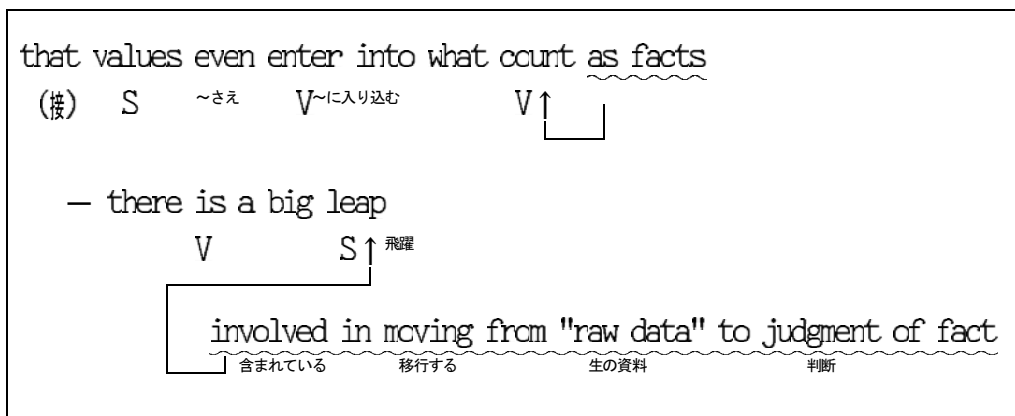
「歴史学者やその他の人達には、「歴史的事実」と「歴史的価値観」とをきちんと分けたがる人がいる」

②

まずはここも構造分析図を示してみましょう。

The trouble is

④ ⑤



C

what count as facts は「何が事実と見なされるか」と訳せばいいでしょう。

④この what は関係代名詞的に「こと・もの」と訳さない方がいい。このように what を「こと・もの」「何」のどちらで訳すかは、多くの場合文脈判断となる。

そうすると values ~ facts までは「何が事実と見なされるかということにさえ価値観が入り込むのだ」となります。

facts 直後のダッシュ(-)は「即ち」と訳せばいいでしょう。

④ LESSON BOOK REVIEW Rule-65 を参照せよ。

there is a big leap involved in~ については LESSON BOOK REVIEW Rule-44 が利用できます。こんなルールでした。

「There is ⑤ +分詞～」となる場合は「⑤は(が)～している(される)」と訳す
といい(つまり⑤と分詞～の間には「主語と述語の意味関係」が成立している)

そうするとこの部分も「大きな飛躍が～には含まれている」と、a big leap と involved の間に主語と述語の関係が成立していることを意識して訳せばいいのです。それから judgment of fact の of は目的格と判断し、この部分は

judge fact 事実を判断する
V O

と読み換えてみるとよかったですよ。

②全体はこんなふうになります。

「困るのは、何が事実と見なされるかということにさえ価値観が入り込むということだ。即ち、「生の資料」から事実を判断することに至るまでには、大きな飛躍が含まれるのだ」

③

More important は字面的には形容詞ですが、「更に重要なことには」という意味で(決まり文句的に用いる)副詞句です。

④要するに What is more important の短縮形だ。「スマートリーディング LESSON BOOK」の209ページを参照せよ。

そうするとこの英文のS(主語)は one、V(動詞)は finds で、直後の that節がO(目的語)になっています。骨組みは「更に重要なことには、that以下のことがわかるのである」となります。

④one は「一般の人」を指しており、和訳に出さなくてもいい。

問題は that節内の和訳ですね。ここは「～すればするほどそれだけいっそう…」という the+比較級の構文で書かれていますが、the+比較級が3つあります。《課外授業15》でも言いましたが、

「The+比較級 S+V～」の部分が3つあった場合には、and のない方が前後半の切れ目とみなす。

のでしたね。本問ではそうすると today と the less の間が前後半の切れ目ということになりますね。

それから the more important the issues it raises for today 部分は、the+比較級 S となっていてVがありません。こういう場合は be動詞(もしくは become)を補うのでしたね。それから the issues it raises for today は「名詞 S+V」の構造です。it ~today を issues にかけて訳さないといけません。

☞LESSON BOOK REVIEW Rule-52 を参照せよ。

したがって

the more important the issues [it raises for today] **is**
S(名) ↑ S V V

「それ(=歴史)が今日に対して提起する問題が重要なものであればあるほど」

と(is を補って)ここを訳します。

the less it is possible to sustain a fact-value division についてですが、**英文中の多くでは、less ≒ not と考えると和訳がスムーズになります。**ここも「それだけいっそう事実と価値観の区別を維持するのが可能でなくなる → できなくなる」と訳せばいいでしょう。

さあでは③全体をまとめてみましょう。

「更に重要なことに、その歴史が複雑であり多重構造をしていればいるほど、またその歴史が今日(現代)に対して提起する問題が重要であればあるほど、事実と価値観との区別を維持することができなく(難しく)なるのである」

☞find は本問の場合、あえて和訳に出さない方が自然な訳になるだろう。

【全訳】

「歴史学者やその他の人達には、「歴史的事実」と「歴史的価値観」とをきちんと分けたがる人がいる。困るのは、何が事実と見なされるかということにさえ価値観が入り込むということだ。即ち、「生の資料」から事実を判断することに至るまでには、大きな飛躍が含まれるのだ。更に重要なことに、その歴史が複雑であり多重構造をしていればいるほど、またその歴史が今日(現代)に対して提起する問題が重要であればあるほど、事実と価値観との区別を維持することができなく(難しく)なるのである」

10. ①Whether there is a connection between enthusiasm for the crossword and the 1930s boom in detective fiction, with its obvious puzzle-solving appeal, can only be guessed at. ②More certainly, the crossword encouraged a widespread interest in words. ③From their newspapers, readers were thus sent hurrying to dictionaries, which libraries complained they had repeatedly to replace because they were being roughly handled or even stolen by crossword lovers.

(東京大 2011)

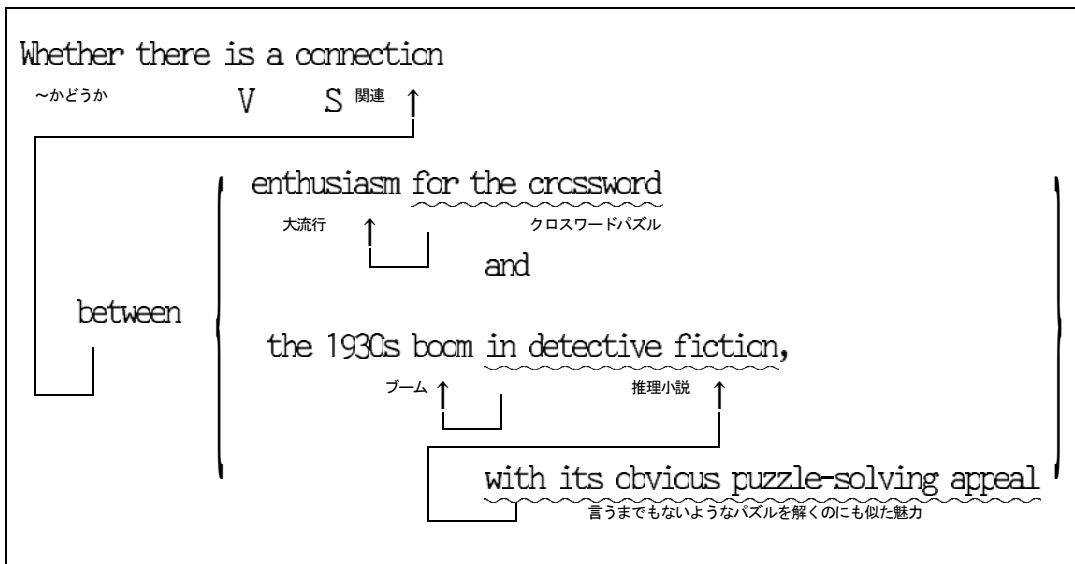
《語句》 connection: 関連、つながり
enthusiasm: 熱狂、大流行
crossword: クロスワードパズル
detective fiction: 推理小説、探偵小説
obvious: 明らか、言うまでもないような
puzzle-solving: パズルを解くような
appeal: 魅力
guess at A: Aを推測する、言い当てる
encourage: ~を助長する、促す
widespread: 広範囲な
complain (that) S+V ~: ~だと不平を言う(こぼす)
replace: ~を取り替える
roughly: 乱暴に
handle: ~を扱う
steal - stole - stolen: ~を盗む

【解答&解説】

①

文頭の Whether節の見極めはもう大丈夫ですか？ まだ不安な人は、もう一度 **LESSON BOOK REVIEW Rule-59** を見てみてください。本問は、Whether節の後ろに can~be guessed というV(動詞)が見つかるので、Whether節は「~かどうか」と訳せばいいのです。

構造分析図を示してみましよう。



⑤

can only be guessed at.

④

with は having で言い換えられる「~を持っている」という意味で、with ~ appeal は detective fiction を修飾する形容詞句と見ればいいでしょう。
 can only be guessed at は「推測されうるにすぎない → 推測の域を出ない」と訳せばいいでしょう。

そうすると①はこんなふうになります。

「クロスワードパズルの大流行と、言うまでもないようなパズルを解くのにも似た魅力を持つ推理小説の1930年代におけるブームとの間に関連があるかどうかは、推測の域を出ない」

②

ここは Part IV 40. のルールを利用して、文頭の副詞句を more certain と形容詞化し、全体を仮主語構文に変換してみるとよかったです。

⇒ It is more certain that the crossword encouraged a widespread interest

S V

0 ↑
 in words.

そうすると②はこんなふうになります。

「クロスワードパズルが言葉に対する広範囲な関心(の高まり)を促したことはより確か(なこと)である」

③

まず From ~ replace までですが、V(動詞)の sent は受け身で、能動態に直せば、

sent readers hurrying to dictionaries

ⓧ ○ C

だったはずですが。これは send という、知覚動詞でも思考動詞でもない動詞が作るSVO C構文ですね。ならば LESSON BOOK REVIEW Rule-23の2.(2) が使えます。そのような動詞が作るSVO Cは

「Sが原因となって(Sのおかげで・せいで/Sによって)、結果としてOはCする」

で訳せてしまえるんでしたね。そうするとここは「読者を辞書へと急がせる」となります。本問はこの受け身なので、「読者は辞書へと急がされる → 辞書へと急ぐ(急ぎ向かう)」と訳せばいいのです。、which 部分は、Part IV 41. の解説にあったように、

- (1) which の手前で一旦区切り
- (2) 「そして」くらいのつなぎ語を補って
- (3) which に先行詞(dictionaries)を代入して

訳をまとめればいいでしょう。

そうするとこうなります。

「読者は新聞から辞書へと急ぎ(向かい)、そして図書館は辞書を何度も取り替えなければならぬと不平をこぼしたのである」

最後に because ~ lovers までですが、ここは語句の意味さえわかればさして問題なかったでしょう。they は dictionaries を指しています。

「というのはクロスワードパズルの愛好者によって辞書が乱暴に扱われたり、盗まれたりさえしたからである」

【全訳】

「クロスワードパズルの大流行と、言うまでもないようなパズルを解くのにも似た魅力を持つ推理小説の¹⁹³⁰年代におけるブームとの間に関連があるかどうかは、推測の域を出ない。クロスワードパズルが言葉に対する広範囲な関心(の高まり)を促したことはより確か(なこと)である。読者は新聞から辞書へと急ぎ(向かい)、そして図書館は辞書を何度も取り替えなければならぬと不平をこぼしたのである。というのはクロスワードパズルの愛好者によって辞書が乱暴に扱われたり、盗まれたりさえしたからである」

関係詞節内の have to は要注意!

なぜ関係詞節内の have to は要注意かというと、have to と言えばおなじみの「～しなければならない」という意味にならないことが(関係詞節内の have to については)あるからです。以下の例文を見てください。

The government should listen to what the victims of an earthquake have to say.

この英文の what節内を「地震の被災者が言わなければならないこと」と訳したのでは減点です。ここは「地震の被災者の言葉(言い分)」と訳さなければなりません。なぜなら、what節は元々、

The victims of an earthquake have something to say.

の something が what となって節頭に飛び出したわけで、have は「持っている」という意味の have なのです(to say は something を修飾する形容詞句。something to say は「言うべきこと → 言い分、話」となる)。ですから関係詞節内の have to には2種類があるということになります。

- ① 「～しなければならない」というおなじみの have to。
- ② have something to say から生じた have to。

見極め方法は「(客観的状況により仕方なく)～しなければならない」という訳をして不自然な場合、②タイプと判断したらいいでしょう。

ただ what ~ have to say 型のほとんどは②タイプとっておくといいでしょう。②タイプの例をいくつか挙げておきましょう。

(ex) The king sentenced him to death without listening to anything he had to say.

王は彼の言い分を一切聞くことなく、彼に死罪を言い渡した

I think what the critic has to say about the present political condition is worth listening to.

現在の政治状況についてのその評論家の発言は耳を傾ける価値があると思う